

かごしま環境未来館 だより

Kagoshima Museum of
Environment: Planet Earth and its Future

第3号

2009
MARCH



旬の食材、地元の食材を意識してみる

エコなクッキング講座。昔からの知恵や食と健康・環境の
つながりを改めて見直しました。



CONTENTS

- 特集 水～私たちの暮らしが未来を変える～..... 2 3
- 登録団体紹介..... 4
- 環境未来館情報コーナー..... 5
- 事業報告..... 6
- タメになる!役に立つ!講座等のお知らせ..... 7
- 4月・5月・6月の講座・イベントカレンダー..... 8

この広報紙は、どなたでもはっきり見えるように、デザ
イン・配色を工夫しています。

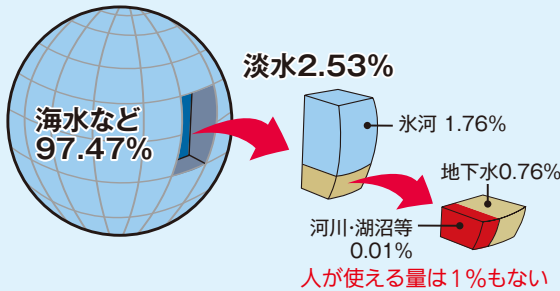


私たちの暮らしが未来を変える

水 water

地球は水の惑星といわれています。その名の通り、地球の約70%は水。しかし、その中で私たち人間が利用できるのは1%に満たないのです。この地球上の水の量は、昔からずっと変わることなく循環を繰り返しています。水の使用量が世界の人口増、経済の成長や豊かな生活の追及によって著しく増加していても。

今回は、わたしたちの生活や命に欠かせない大切な「水」について一緒に考えてみましょう。



参考 平成20年版「日本の水資源」国土交通省発行

私たちは、水道の蛇口をひねればいつでも安全な水が出るように思っていますが、世界に目を向けると、国境を越えて流れる河川などで、水の配分や水環境の悪化などによる紛争が起っています。渇水や洪水被害に苦しむ地域も多く、世界全体で約11億人の人が、安全な飲料水を継続的に利用できない状態にあります（2006年国連開発計画発表）。普段何気なく使っている水ですが、とても貴重で大切なものなのです。



○水をめぐる抗争の世紀
(かごしま環境未来館展示)

日本是世界最大の食料輸入国で、実に6割を輸入に頼っています。これらの食料が生産される過程でたくさんの水が使われています。農産物や工業製品など、輸入したものを国内で生産するとしたら、相当な量の水が必要となります。

そんな仮想水（バーチャルウォーター）の考え方からすると、私たちは世界の水に依存して今の生活を送っているといえるようです。



○バーチャルウォーターを説明
(かごしま環境未来館展示)

私たちの水は

節水・水を汚さない工夫

- シャワーを1日1分家族全員が減らす
一分間で約12リットル、4人家族なら48リットルの節水
 - 風呂の残り湯を洗濯に使う
一回約90リットルの節水
 - 洗剤いらすのアクリルタワシなどを使う
水を汚さない上、洗剤の節約にも
 - 汚れたお皿は洗剤を少量で洗って、新聞紙で拭いてから洗う
水を汚さない上、汚れ落ちも早く
- ほかにもいろいろな方法・工夫があります。できることを調べたり、考えたりして実践してくださいね。



まわりでも 循環している



■甲突川■

環境未来館の目の前には甲突川が流れています。市内最大の河川であり、上流の河頭浄水場では、飲料水を取水しています。さらに上流の甲突池は、昨年環境省が選定した「平成の名水百選」の一つに選ばれています。

環境未来館講座で実際に甲突川に入ってみると、たくさんの生き物がいることにびっくりする子どもたちもいます。環境未来館玄関前の水槽では、甲突川で採取した生き物を見ることができます。未来の子どもたちに、より良い水環境を引き継ぎたいものですね。



甲突池



生き物ウォッチング講座

■排水口の先は■

お風呂に入ったり、歯を磨いたり、食器を洗ったりと、家で使用した後の水。どこへ流れていくか知っていますか？

各家庭からそのまま川や海に流れていってしまうと、水質が悪くなり、異臭がするなど、衛生面でも困ったこととなります。

鹿児島市の公共下水道は、全国で7番目というとても早い時期に整備されました。平成20年3月末の整備率は77.6%です。家庭や工場から出た汚れた水は処理場に運ばれ、きれいにして川や海に流されます。(整備地域以外では、地域や家庭で浄化槽を設置することが求められています。) 汚れた水はきれいに処理されていますが、まずは水を汚さないという私たちの意識が大切です。

私たちが使用した水は、川に、そして海に流れ、蒸発して雲となり、雨となって再び私たちのもとにかえってきます。飲み水としてや農作物などの食べ物として体の中にも入ってきます。私たちも水の循環の一部。水を使いすぎたり、汚したりすると、結局私たちに帰ってくるといえます。水を大切にし、守ることは私たち自身を守ることでもあるんですね。

環境未来館 登録団体紹介

鹿児島市には、環境問題に取り組んでいるたくさんの団体があることをご存知ですか。環境未来館では、館を利用して環境問題に取り組む団体を年度ごとに登録し、情報交換・交流、活動支援を行い、協働して環境学習活動・環境保全活動を進めていきます。登録団体申請については環境未来館へおたずねください。

かごしま市民環境会議

代表連絡先

鹿児島市西伊敷3丁目42-1
TEL/099-228-8989
URL/ <http://www.k-shiminkankyou.org>

活動内容

1. 脱温暖化分科会
 - ①. 子ども環境家計簿班・・・我が家の省エネチェック
 - ②. エネルギー班・・・市民共同発電所の設置
2. 自然観察分科会・・・自然観察会・生き物調査
3. ゴミ分科会・・・ゴミ探検隊
4. 学習分科会・・・出前授業やエコツアーなど

2001年4月、地球と子どもたちの未来のために、立場を超えて、これ以上環境に負荷を与えない努力を市民・団体・企業がネットワーク、協働して、行政とも真のパートナーシップで活動することを目的に設立しました。

1. 脱温暖化分科会②
市民共同発電所「おひさま発電所」
市民の力で自然エネルギー太陽光発電所を建設しています。

- 1号機 ふじヶ丘保育園
- 2号機 谷山幼稚園
- 3号機 三育小学校
- 4号機 ゆうかりデイサービスセンター
- 5号機 城ヶ丘保育園

1. 脱温暖化分科会①
我が家の省エネチェック



2. 自然観察分科会



3. ゴミ分科会



4. 学習分科会



NPO法人 地球環境フォーラム 鹿児島

事務局

鹿児島市山田町3462番地
TEL/099-264-6696 FAX/099-264-6783
URL/ <http://www.eco-kagoshima.org>

活動内容

- 環境セミナーへの講師派遣
- ISO14001の市民団体監査・認証
- HPや会報誌「エコ通信」等の情報発信
- 講演会・学習会の主催・共催
- 環境ISO企業の支援・応援
- ビーチクリーンアップなど



▲講演会で環境問題の啓発



▲ISO企業交流会



▲喜入でのクリーンアップ

1995年に地球環境問題の深刻さを感じた鹿児島の若手経営者たちが中心となり、設立しました。当初は、環境問題の啓発を目的として、全国から講師を招いて講演会やイベントなどを行っていましたが、1996年からは塩川哲郎事務局長が、環境問題の語りべとして鹿児島県内外から多くの出演依頼を頂くようになり、学校や企業、行政、市民グループで講演活動を続けています。(現在では通算約1300回超) また、環境配慮の企業がもっと増えてほしいと願い、全国初のISO14001の市民団体認証制度を2003年6月に始め、企業の環境マネジメントシステムの普及・応援をすると共に、企業と市民を繋ぐ活動も行っています。2005年2月にはNPO法人登記を行い、「NPO法人 地球環境フォーラム鹿児島」となりました。

登録団体の活動予定

◆かごしま子ども文化の里

イベント名 子ども文化の里「あそびがホイ」まつり
日 時 4月29日(水・祝日) 10:00~14:00
内 容 餅つき・飯ごう炊飯・里なべ・昔あそび
基地づくり など
場 所 かごしま子ども文化の里(郡山町5831)
参 加 料 1家族・・・500円、1人・・・300円

申し込み
問い合わせ TEL099-245-6171、FAX099-245-6239
Eメール:kodomobunkanosato@gaea.ocn.ne.jp

◆かごしま市民環境会議

イベント名 第6回「稲荷川河口・干潟の観察会」
日 時 5月9日(土) 13:00~ ※雨天中止
内 容 貴重なアマモやアメフラシの卵を観察
場 所 石橋記念公園集合
参 加 料 1家族・・・500円

申し込み
問い合わせ TEL/FAX099-228-8989

問い合わせは各団体へ

環境未来館 情報コーナー

環境未来館は、さまざまな自然エネルギーを活用している施設です。今回は「放射床冷暖房」のしくみを説明します。

放射床冷暖房

環境未来館の一番大きなスペースであるゾーン3。ここは一面板張りになっています。この床板は、鹿児島市民文化ホールの舞台に使われていたもの(杉とヒノキ)で、貼り替えの際に廃材となったものを再利用しています。

さて、ゾーン3へは靴を脱いで入ります。冷たい床を想像して足を進めると、「あらっ暖かい?」と驚かれる方も。実はこの床下には、パイプが敷き詰められています。パイプの中を流れているのは井戸水を使って温度調節された水です。この井戸水の流れる地下の温度は一年中20℃前後なので、その温度を利用して予冷予熱し、機械で少し補って、夏はひんやり冷たく、冬はほんわり暖かい床になっているのです。素足での気持ちよさを体感しに来てくださいね。



くつは脱いで靴箱に!!



地下水の温度は約20℃



情報学習資料室からのお知らせ

おすすめDVD

『北極のナヌー』



生きることを決めてあきらめなかった一匹のシロクマ(ホッキョクグマ)、ナヌーの物語。地球温暖化の進む、未だかつてない暖かい北極で、氷が解けて狩場を失い、母グマと別れ、エサを求めて懸命に生きるナヌーの姿を感動的に描いたドキュメンタリーです。

地球温暖化がこのまま進めば2040年には北極の氷が解けてなくなってしまうかもしれないということを改めて考えさせられる1本です。

DVDを見るためには、

環境未来館ゾーン3の情報学習資料室図書カウンターで受け付けしてください。お時間のあるときにゆっくりどうぞ。55本あります(21年3月現在)。

ゾーン2のテーマは「地球はすでに限界を超えている」。展示してある写真は、世界で今起こっている環境問題の現実を私たちに示しています。

ある日、1つの写真を熱心に見ている男の子がいました。地球温暖化によって小さくなった氷の上でホッキョクグマが海を覗き込んでいた写真でした。そばに近づいた私に、彼は歌を歌ってくれました。まっすぐに背中を伸ばして、いい声で。その歌はまさにホッキョクグマの叫び。テレビ番組で放送されていた歌だそうで、早速調べてみました。

私たちは、環境に関心を持って行動していただくために展示解説をさせていただいていますが、皆さんから教わることがたくさんあります。この日、まっすぐな目で写真に見入り、考えていたあの男の子からは、ホッキョクグマの歌と、伝えていくことの大切さを教わりました。

=スタッフより=



環境未来館事業報告

◆水のイベント

2月21日

液体・気体・固体の形で見るができる水(H₂O)をテーマに科学技術館の方を講師に実験イベントを開催しました。



ペットボトル内の水や飲料水が一瞬にして液体から固体に変化するマジックのような実験では、驚きの歓声があがるなど、参加者からは「H₂Oの変幻自在さには目からウロコでした」といった感想が聞かれました。

他にも、全員で水素と酸素から水を作る実験をしたり、模型などを使って地球上の水のことについての話があたり、体験と学習がセットになって水のおもしろさと大切さを体感した時間となりました。



◆そばの収穫祭

2月22日

開催場所である谷山の久保地区は、永田川上流の山間部にあり、地域で川の水質保全や豊かな自然を守る取り組みが続けられていました。地域の方々による湧き水を使ったそば打ち講習では、受講者から「今まで



(食べたそば)で一番おいしかった!」という声もあるほどの‘そば文化’も継承されていました。地元のそばや野菜、間伐材の利用など、地元の自然・文化を生かした内容と講師の久保渓流会の皆さんの温かい人柄に触れ、自然に触れることの楽しさや地域を愛する気持ちが地域を知り、守ることにつながることを感じとれた1日となりました。



◆協働でつくる風・水・緑のまちづくり講座(全4回)

2月22日

2月22日の第3回目の講座は、「持続可能なまちづくりにつながる環境教育」(講師:小栗有子鹿児島大学生涯学習教育研究センター准教授)というテーマで行われました。

ワークショップ形式で、参加者から環境問題だけでなく、仕事や日常生活でのさまざまな問題について発言し意見を出し合う中、全ては根本で環境教育につながることを理解しました。また、環境に配慮したまちづくりに取り組むにあたって、個人の行動はもとより、行政や地域とのコミュニケーション、価値観や常識が個々に差があることへの理解が大切であることなどを学びました。



クメになる！役に立つ！ 講座等のお知らせ



- 対象 市内に住むか、通勤、通学する人
- 定員 各40人 ※食工房利用は25人
定員を超えた場合は抽選になります
- 受講料 無料 ※ただし、材料費は実費で負担
- 申し込み方法
往復はがき(1人につき1枚)またはファックス、Eメールで
①希望の講座名 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
⑥ファックス番号をお知らせください
- 申し込みの期限
原則として各講座開催の1週間前まで
- 申し込み・問い合わせ先
〒890-0041 鹿児島市城西2丁目1番5号かごしま環境未来館
電話 099-806-6666 ファックス 099-806-8000
Eメール kankyo@kagoshima-miraikan.jp
※リサイクル講座はリサイクル工房宛
電話 099-806-6663、FAX 099-806-8000、
Eメール recycle@kagoshima-miraikan.jp

●4月・5月・6月の主な講座

ウミガメを守り隊！

世界的な機関である国際自然保護連合(IUCN)のレッドリスト(絶滅危惧種)にもあがっているウミガメ。ウミガメの産卵・ふ化調査、砂浜の調査を行う「ウミガメ研究会」の方を講師に迎え、ウミガメを守るために何ができるか、自然環境がどう変化しているかなどを学びます。

- ◆開催日時 平成21年5月10日(日)10時～12時
- ◆開催場所 研修室
- ◆講師 鹿児島大学ウミガメ研究会
- ◆参加料 無料

親子でご参加ください！ ホタル観察隊

古くから夏の風物詩として親しまれ、環境保全のシンボルともなってきたホタル。最近、生息環境の悪化により数が減少しています。人間活動が自然に与える影響やホタルの生態から人と自然のかかわり方を学びます。

- ◆開催日時 平成21年5月16日(土)17時30分～20時
- ◆開催場所 実験学習室、吉田地域(予定)
- ◆講師 塚田拓さん(鹿児島昆虫同好会幹事)
- ◆参加料 無料

男のエコなクッキング

あなたにもできる！切り物が少なく簡単、エコでおいしい料理に挑戦しませんか。残り野菜の応用術なども伝授します。

- ◆開催日時 平成21年6月20日(土)10時～14時
- ◆開催場所 食工房
- ◆定員 25名
- ◆講師 住吉小百合さん
(家庭料理研究家)
- ◆参加料 実費負担あり

世界のエコライフ ～パーマカルチャー～

オーストラリアなどの世界のエコライフ事例からパーマカルチャー(環境に負荷をかけない、持続可能な生き方)について学びます。

- ◆開催日時 平成21年5月30日(土)10時～12時
- ◆開催場所 研修室
- ◆講師 塩川哲郎さん
(環境ネットワーク鹿児島代表)
- ◆参加料 無料

リサイクル講座

リユース・リデュース・リサイクルの観点から、「アクリルたわしづくりと重曹活用術」(4月18日)、「親子で工作しよう」(5月3、5日)、「傘からレインコート」(6月3日)など、さまざまな講座を展開しています。詳しくは直接リサイクル工房にお問い合わせください。




- ◆開催場所 リサイクル工房
- ◆参加料 講座内容によっては実費程度が必要です





この他にもたくさんの講座を用意しています。8ページのイベントカレンダーに掲載しています。詳しくはお問い合わせください。

講座・イベント カレンダー


















※日程は、これから決定するもの、変更になるものがあります。お問い合わせください。

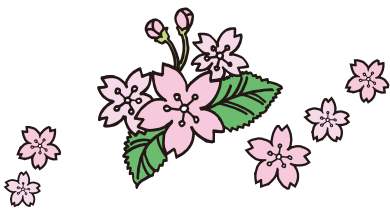
-  館内講座
-  館外体験講座
-  子ども・親子向け講座

-  リサイクル工房講座
-  イベント

4月	
1	水
2	木
3	金
4	土  自然の木を生かした木工①
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土  マイはし&マイはし袋づくり
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木  手づくりおもちゃ子育て講座①
17	金
18	土  アクリルたわしと重曹活用術
19	日  牛乳パック工作
20	月
21	火
22	水
23	木  流木オブジェ(夜間)
24	金
25	土  造花(コサージュ)づくり
26	日  モーターで走る木工カー
27	月  生き物ウォッチング
28	火  木工で鯉のぼり
29	水  家庭でできる野菜づくり講座 昭和の日
30	木

5月	
1	金
2	土  自然の木を生かした木工②
3	日  野鳥観察会(慈眼寺公園)  親子で工作しよう① 憲法記念日
4	月  みどりの日
5	火  親子で工作しよう② こどもの日
6	水  振替休日
7	木
8	金
9	土  魅力ある鹿児島市の景観  フラワーデザイン
10	日  ウミガメを守り隊  地図切抜き工作
11	月
12	火  古布ぞうり
13	水  マイはし&マイはし袋づくり
14	木
15	金
16	土  おいしい野菜ものがたり  ホタル観察隊  包丁研ぎ教室
17	日  かがしま環境探検隊①  エコ達人講座①(はし袋)
18	月
19	火
20	水  流木オブジェ(夜間)
21	木  手づくりおもちゃ子育て講座②
22	金
23	土  生き物ウォッチング(甲突川)  Yシャツリフォーム
24	日  LOHASな鹿児島①  かがしま環境探検隊②  エコ達人講座②(マイバッグ)
25	月
26	火
27	水  エコなクッキング(有機野菜編)
28	木
29	金
30	土  木工で動物切抜き  世界のエコライフ~パーマカルチャー
31	日  かがしま環境探検隊③

6月	
1	月
2	火
3	水  傘からレインコート(子供用)
4	木
5	金
6	土  LOHASな鹿児島②  自然の木を生かした木工③
7	日  鹿児島市の環境問題・環境保全活動  モーターで動くペットボトルカーづくり
8	月
9	火
10	水
11	木  額縁づくり
12	金
13	土  かがしまの地質と環境①  竹で工作
14	日  焼酎づくりから環境づくりへ  かがしま環境探検隊④
15	月
16	火
17	水  灯ろうづくり①(夜間)
18	木  手づくりおもちゃ子育て講座③
19	金
20	土  男のエコなクッキング
21	日  アイガモ農法と有機農業(川上町)
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土  LOHASな鹿児島③  グリーティングカードづくり
28	日  モーターで動く鉄棒人形づくり
29	月
30	火



かごしま環境未来館

Kagoshima Museum of Environment: Planet Earth and its Future
 所在地 〒890-0041 鹿児島市城西2丁目1番5号
 電話番号 099-806-6666 FAX 099-806-8000
 ホームページ <http://www.kagoshima-miraikan.jp/>
 Eメール kankyo@kagoshima-miraikan.jp



■利用案内■

開館時間 9:30~21:00 (日曜日祝日は18:00まで)
 休館日 月曜日 (祝日の場合はその後の最初の平日)
 入館料 無料
 駐車場 乗用車43台、バス4台
 アクセス 新照院、草牟田、原良小前の各バス停から徒歩約5分

地球環境保護のため、公共交通機関を利用しての来館にご協力下さい。

